2011. 1. 6 会. 山口
1. 7 衆事務総長
1. 11 民. 岡田 幹
自. 逢沢
川端議運委員長
参. 西岡議長
1. 13 共. 穀田
社. 照各
1. 14 民. 安住
1. 8 芸. 仙谷
1. 5 民. 岡田
古. 小
体. 谷

3月2日 ㊍ 一
3月11日 安

今後の日本の政治について

- ○ 政権交代の可能性が多くなる。
- ○ 衆院と参院の多数派が異なる状況が生まれる。

国会の運営

- ○ 衆院と参院との合意形成をどうするか。
  - 両院協議会などのあり方
- ○ 今までの与野党合意事項の再確認と点検
  - 副大臣などの活用
  - 予算委員会などの審議のあり方
- ○ 議会制度協議会や今日までの様々な提案について

与野党の協議について

- ○ 社会保障制度改革と国民負担のあり方について
  - こども支援、求職者支援を含む
- ○ どのようなスケジュール、体制で行うべきか。
  - 社会保障制度改革両院合同会議などの例

参院の問責決議の扱いについて

- ○ 問責が成立したとき、閣僚が辞めることを前例としていくことがよいのか。
- ○ 憲法の二院制の下における衆院と参院の役割について
- ○ 問責決議という参院の意思について、どう対応すべきか。

2011.1.5 古川
岡田
伴呂.
1.11 川端

① 今後のスケジュールをどう考えているのか

・ 問責決議の扱い

○ 問責が前例となることは避けるべき

○ しかし、自公などが冒頭から欠席した場合どうするのか

強行は避けるべき

・ 国会の運営について

○ いままでの与野党合意事項の確認

副大臣などの活用

予算委員会などの審議の在り方

・ 与野党の協議について

○ 社会保障制度改革と国民の負担のあり方について

こども支援、求職者支援を含む

○ どのような形とスケジュールで行うか

総理は6月メド発言、自民はまず素案

② 党大会の円満な運営

・ 今後野党と話し合うためにも、党内の団結が必要

大会対策をすすめているのか